

理科（生物基礎） 授業指導計画

授業者

- 1 日 時 令和5年2月10日（金）5限
- 2 実施場所 12HR教室（南館2階）
- 3 H R 12HR
- 4 生徒観 生物に関して興味関心を持ち、主体的に学習に取り組む生徒が多く、発問に対しても一人一人が考えて意思表示をするクラスである。協働学習を取り入れる機会が少なかったため、本時では、根拠を持って発言しあい意見をまとめることにより正しい解を見つけていく力を伸ばしたい。
- 5 単 元 生態系と攪乱
- 6 本時の目標 ①攪乱には、自然攪乱と人為的攪乱があることを理解する。
②生物量の変化やヒント文を元に、各物質の変化について考えることで、他者との協働により、課題を解決する行動力・コミュニケーション能力を育てる。
- 7 本時の展開（本時の授業は電子黒板を使用する）

	指 導 事 項	留 意 点
導 入 (5分)	生態系のバランスを大きく崩す要因について考える。	攪乱には、自然界にもともと存在する事象と、人間活動が原因となる事象があることに気づかせる。
展開1 (15分)	生態系の攪乱について自然攪乱と人為的攪乱を説明する。	攪乱は生態系にとってプラスな要因とマイナスな要因とがあり、さまざまな立場から、生態系とともに生きていく方法を考える大切さを伝える。
展開2 (20分)	河川に汚水が流入したときの物質の量の変化A～Cに当てはまる物質を班で考え、発表させる。	生物量の変化やヒント文を観ながら考察し表現しようとしている。
まとめ (10分)	その他の人為的攪乱について説明する。	【コラム】マイクロプラスチックの汚染について理解する。